

米原市子ども・若者を取り巻く現状

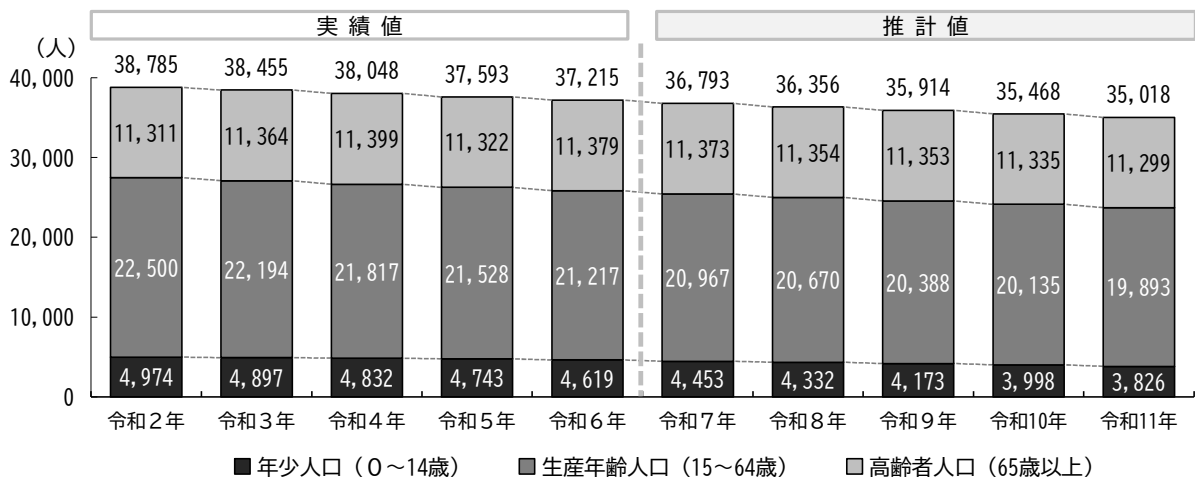
1 人口等の状況

(1) 人口

本市の総人口は、近年減少傾向にあります。年齢3区分別人口の推移を見ると、年少人口と生産年齢人口は減少傾向にあり、高齢者人口はほぼ横ばいで推移しています。令和7年以降は、年少人口と生産年齢人口は減少傾向、高齢者人口は緩やかに減少することが予測されます。

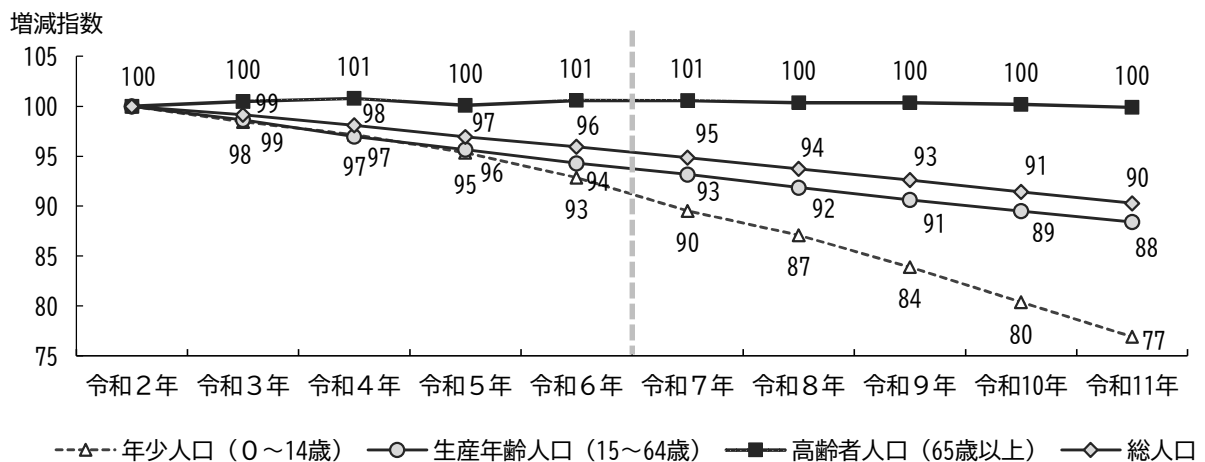
令和2年を100とした場合の増減では、年少人口の減少幅が大きくなっています。

■年齢3区分人口の推移



資料：実績値は住民基本台帳（各年4月1日時点）、推計値はコーホート変化率法により算出

■令和2年を100とした場合の年齢3区分別人口の推移の比較



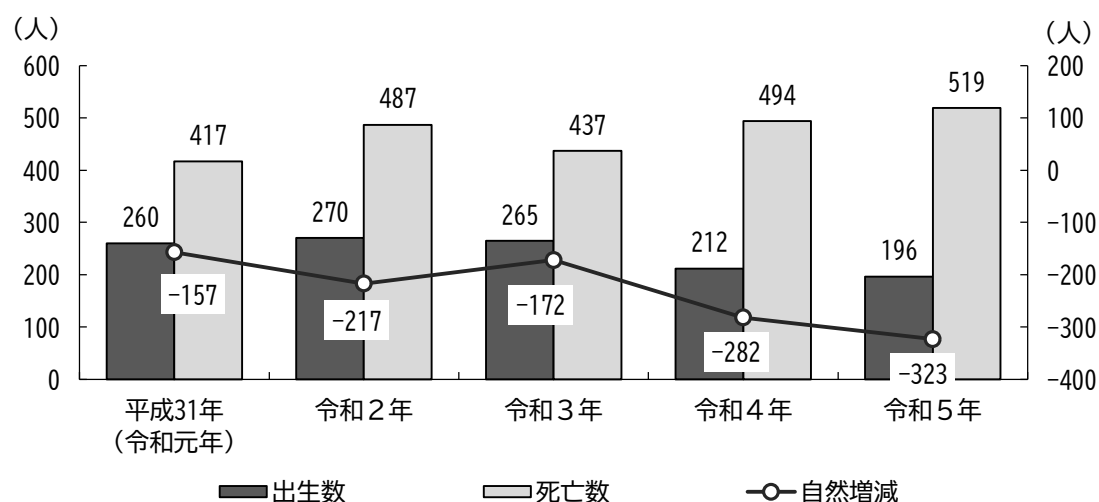
資料：実績値は住民基本台帳（各年4月1日時点）、推計値はコーホート変化率法により算出

(2) 出生等の状況

出生数は減少傾向にあり、令和5年には200人を下回りました。死亡数は増減しながら推移しています。自然動態は、死亡数が出生数を大きく上回る自然減の状態が続いています。

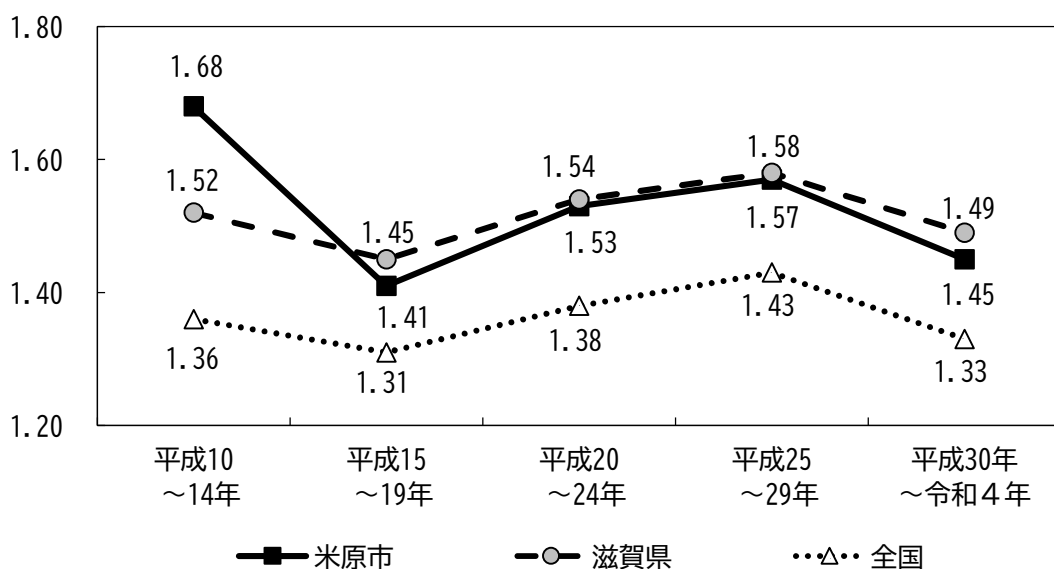
合計特殊出生率は、全国を上回り、滋賀県を下回って推移しており、平成30～令和4年で1.45となっています。

■出生数・死亡数の推移



資料：滋賀県推計人口年報

■合計特殊出生率の推移



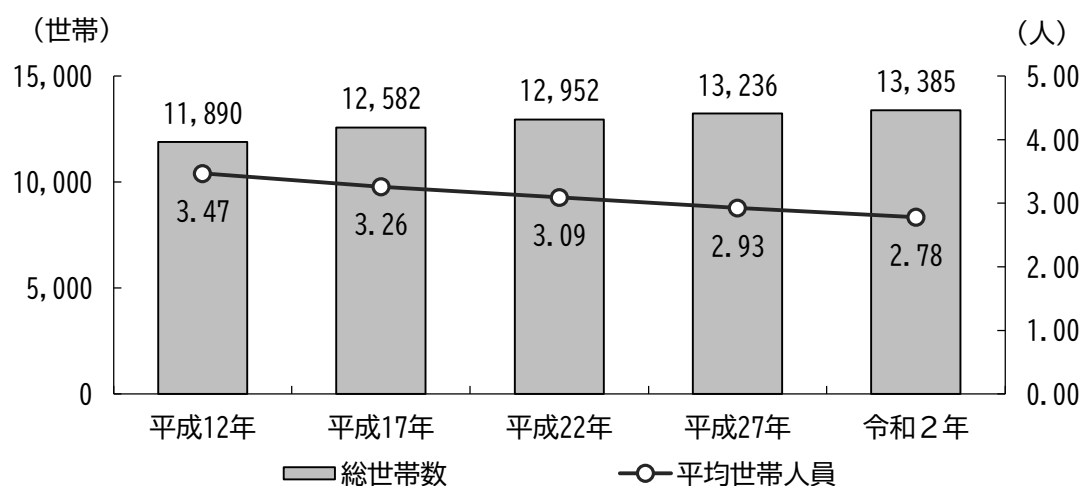
資料：人口動態保健所・市区町村別統計

(3) 世帯の状況

総世帯数は増加傾向となっていますが、1世帯当たり平均世帯人員は減少傾向にあり、令和2年で2.78人となっています。

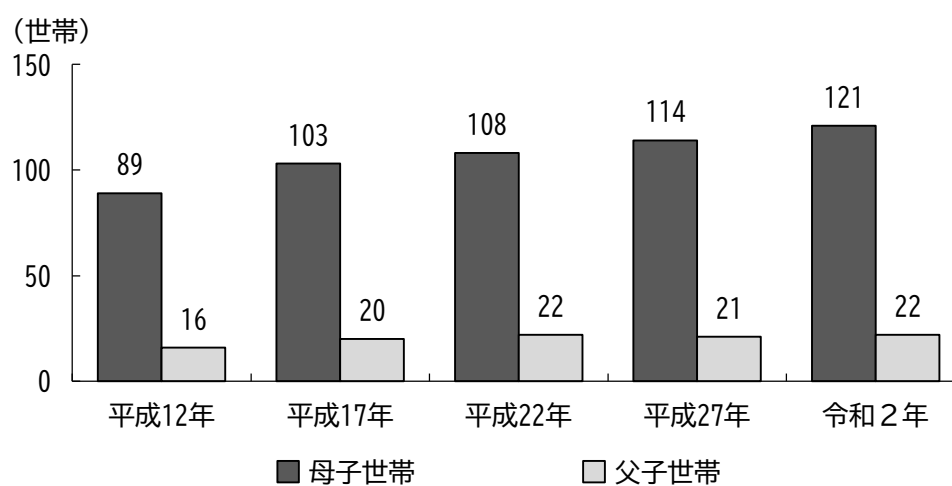
母子世帯は年々増加しており、令和2年で121世帯となっています。父子世帯については、20世帯程度で推移しています。

■総世帯数および平均世帯人員の推移



資料：国勢調査

■母子世帯および父子世帯の推移

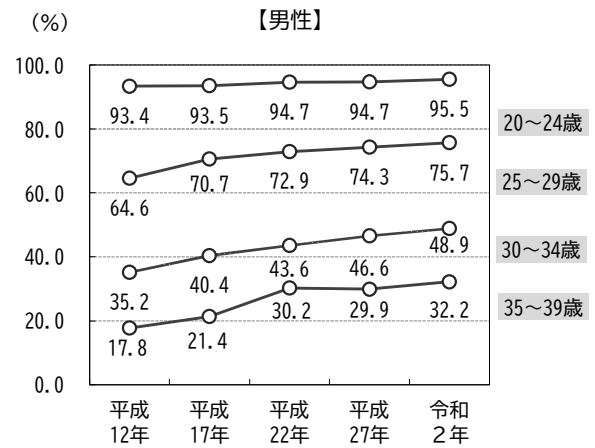
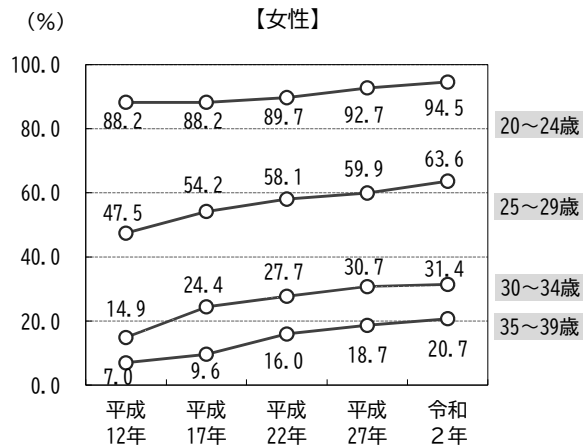


資料：国勢調査

(4) 未婚率

女性の未婚率はいずれの年代においても上昇傾向にあり、平成 27 から令和 2 年にかけては、特に 20 歳代後半が上昇しています。男性の未婚率は 20 歳代前半では概ね横ばいで推移し、その他の年代ではいずれも上昇しています。

■年齢別未婚率の推移

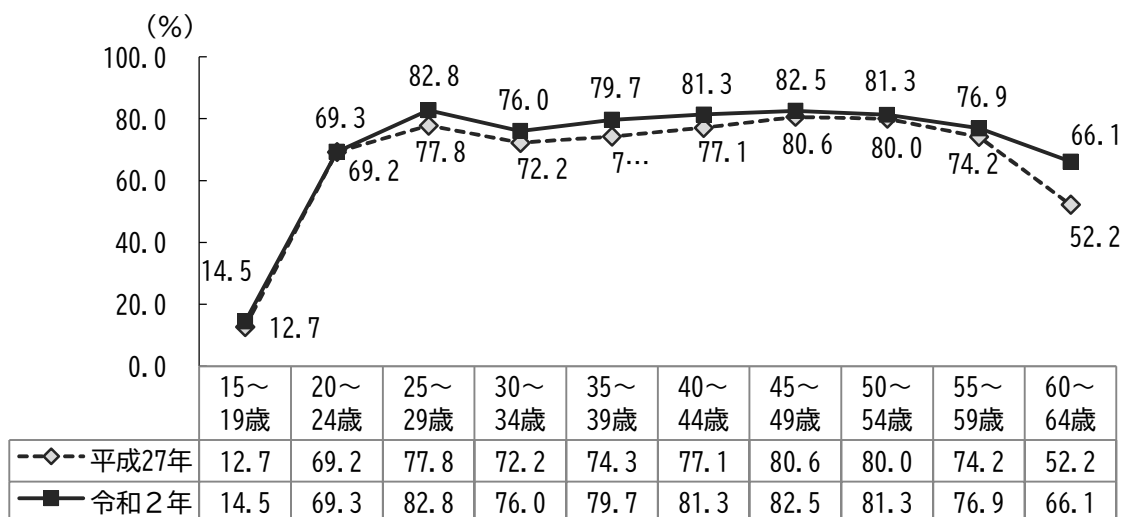


資料：国勢調査

(5) 女性の就業率

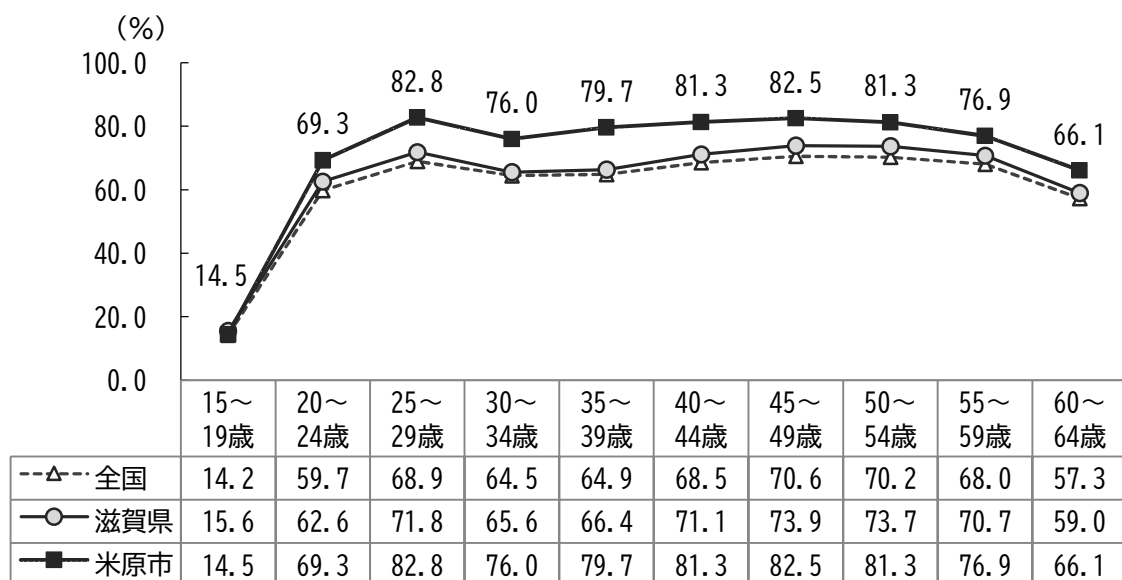
女性の年齢階層別就業率は、平成27年から令和2年にかけてすべての年齢階層で上昇しています。国・県と比較すると、20歳以降の年齢階層で上回っており、特に20歳代後半から30歳代で就業率が高くなっています。

■女性の年齢階層別就業率（経年比較）



資料：国勢調査

■女性の年齢階層別就業率 令和2年（全国・滋賀県との比較）



資料：国勢調査

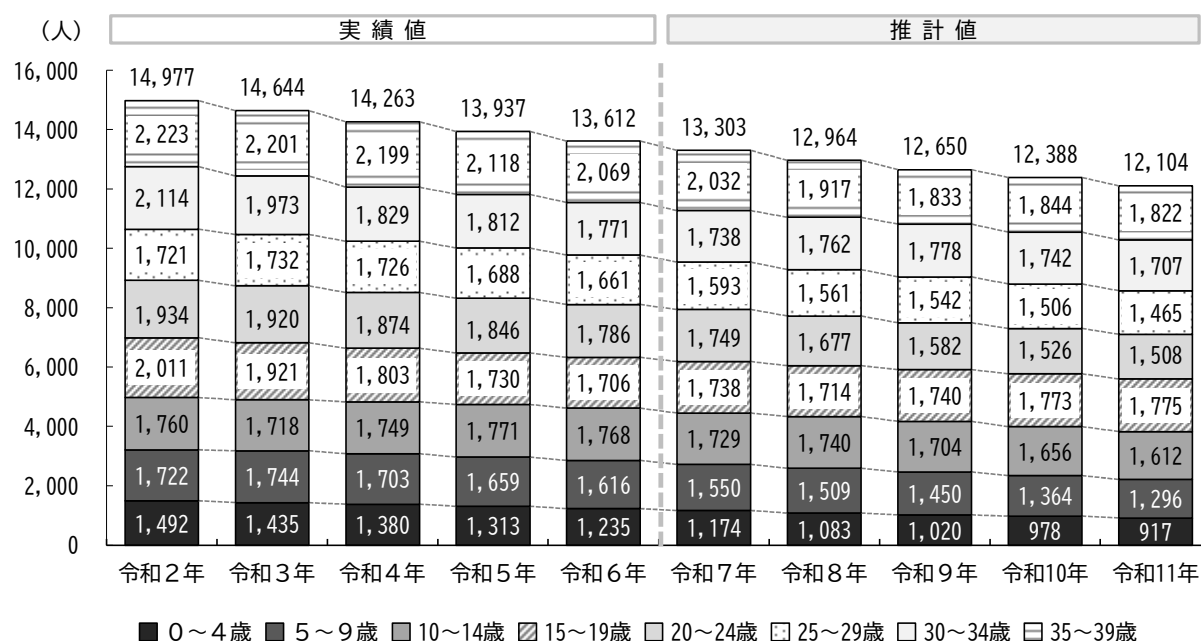
2. 子ども・若者の状況

(1) 子ども・若者人口

40歳未満の人口は、10～14歳は横ばいで推移し、その他の年代で減少傾向にあります。推計については、令和7年以降、15～19歳を除く年代で減少が予測され、0～4歳は令和10年で1,000人を下回る見込みです。

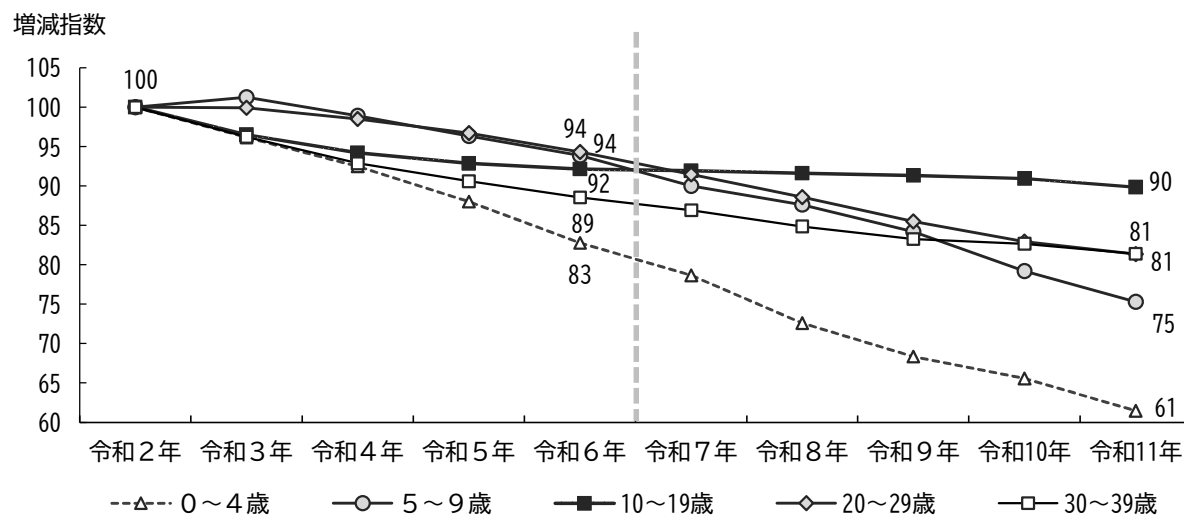
令和2年を100とした場合の増減では、すべての年代で減少となっており、0～4歳の減少幅が大きくなっています。

■40歳未満人口の推移



資料：実績値は住民基本台帳（各年4月1日時点）、推計値はコーホート変化率法により算出

■令和2年を100とした場合の40歳未満人口の推移の比較



資料：実績値は住民基本台帳（各年4月1日時点）、推計値はコーホート変化率法により算出

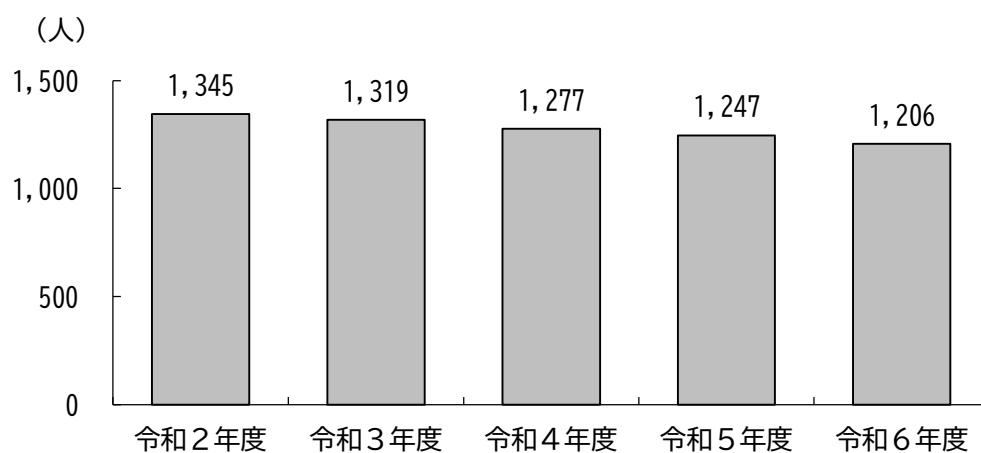
(2) 児童・生徒数

教育・保育施設児童数は、減少傾向にあり、令和6年で1,206人となっています。

小学校児童数は、令和3年度以降減少傾向にあり、令和6年で2,000人となっています。

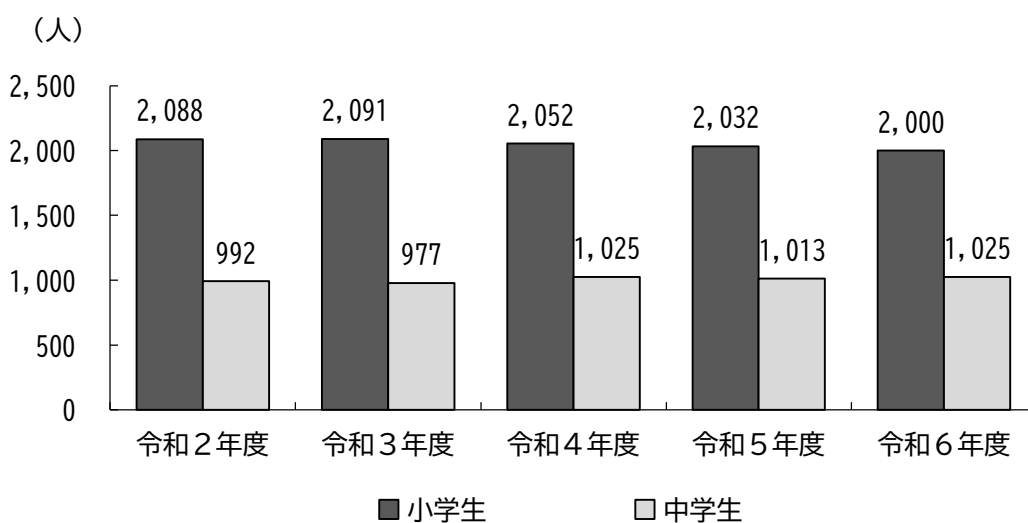
中学校生徒数は、増減を繰り返しながら推移しており、令和4年度以降は概ね1,000人程度となっています。

■教育・保育施設児童数の推移



資料：入園児童数（各年4月1日現在）

■小学校児童・中学校生徒数の推移



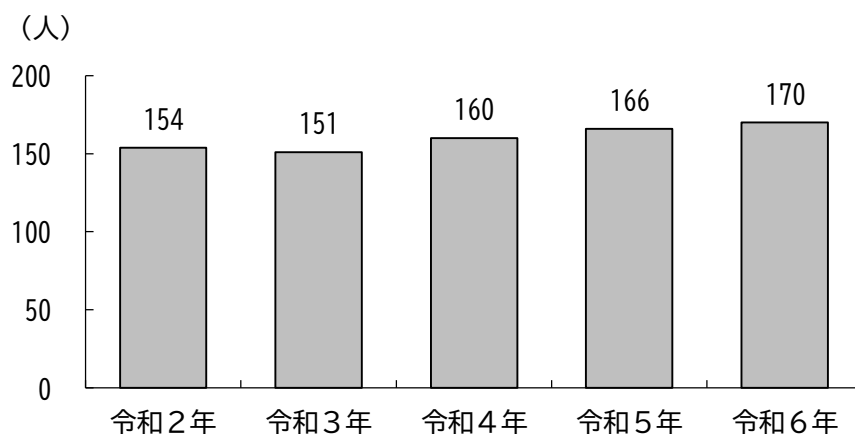
資料：児童生徒数一覧（各年4月1日現在）

3. 支援が必要な子どもや子育て家庭の状況

(1) 障害のある子どもの状況

障害児通所支援の利用者数は、令和3年以降増加傾向にあり、令和6年で170人となっています。

■障害児通所支援の利用者数の推移



資料：米原市障がい者計画

(2) 虐待の状況

虐待相談件数は、令和2年以降増加傾向にあり、相談種別でみると「身体的虐待」が最も多く、令和5年で110件となっています。

■虐待の相談件数の推移

単位:件

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
虐待数	新規	68	63	65	100
	変更	3	6	0	0
	継続	61	108	141	176
相談種別	身体的虐待	70	80	93	110
	性的虐待	0	0	0	2
	心理的虐待	33	60	66	100
	ネグレクト	29	37	47	64

資料：各年3月31日時点

(3) 児童扶養手当受給者の状況

児童扶養手当認定者は増加傾向にあり、令和5年では263件となっています。受給者は、全支給者と全部停止者が増加しています。

■児童扶養手当受給者の推移

単位:件

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
児童扶養手当認定者		243	252	254	263
児童扶養手当受給者	全支給者	102	83	94	100
	一部支給者	100	105	102	95
	全部停止者	57	55	56	68

資料：各年3月31日時点

(4) 就学援助認定者数の状況

就学援助受給者数は、小学生では220人前後で推移しています。中学生では増加傾向にあり、令和5年では137人となっています。

■児童扶養手当受給者の推移

単位:人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学生	218	221	220	221
中学生	106	124	129	137

資料：各年3月31日時点